

## 事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 5年 5月 12 日

事業所名 音楽療育特化型事業所 リズムストーリー松原

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	毎回児童人数や個性を考慮し、適切な支援スペースを確保している。	療育中の安全面に配慮し個人利用可能なスペースの確保やクールダウンに適切な空間を柔軟に確保している
	2	職員の配置数は適切である	100%	0%	日々の支援で加配の必要児童に担当職員を配置	今後も適切な配置数を確保していく
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	100%	0%	バリアフリー療育室にカーペットを敷き汚れや安全対策に配慮している。絵カードの設置を玄関、療育室ドア、トイレに設置。	利用児童の特性に柔軟に対応工夫していきます
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	100%	0%	午前午後療育後の消毒清掃をチェックシートで確認している。週に1度大掃除の徹底。	音楽を楽しみ清潔で心地よい空間を維持していきます
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	100%	0%	事業所内での会議と並行してエルダー制度も取り入れている	法人全体又事業所内での取り組みによりすべての職員が参画できるようにリモート会議も取り入れ工夫している
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%	評価表に全職員が把握し集計を取りより良い業務改善に繋げていく	意向、意見等必ず周知し把握し意見交換を行いより良い支援につなげてく
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	今年度より自己評価アンケート調査を行い結果を弊社ホームページに公開します	リズム通信(月会報)での保護者様への報告を検討しています
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%	検討中	今後第三者による外部評価を行っていただき業務改善につなげていきたい
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%	毎朝の朝礼と毎月2.3回1時間半程度の社内研修を行い委員会を決め各自役割をもって研修に参加している	法人内ではリモート研修も導入し、全職員が必ず参加できるように工夫している。法人外研修も今後検討していき更に支援の向上に努めたい
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%	必ず保護者のニーズや課題に添った内容で職員間での分析をした上で計画の作成を行っている	計画作成前と作成後で会議し支援内容の周知に務める
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%	発達支援センターや病院等での個別ツールを共有させていただいています	標準化されたアセスメントツールを使用して適応行動の判断をされている子どもの情報は共有して支援に反映していく
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%	一人一人の子どもと保護者に寄り添った支援内容となるように日々の支援内容の報告を必ず受け適切かつ具体的に提示するように心がけています	地域支援について交流が少ないのでその機会を設けられるように改善を検討していく
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%	日々の支援記録を記入時に計画を必ず確認して記入しています	毎回職員間での子どもの申し送りや支援内容について小さいと思えることも共有していく必要性を重要視できるようにしていく
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	毎月、毎週職員会議で立案している	PDCAサイクルに基づき立案している
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	児童の様子、季節、流行り、興味に合わせたプログラムを導入している	新しいパネルシアターの作成
16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%	音楽療育の中に適宜組み合わせ支援し、その内容を連絡帳や伝言で保護者様に伝えている	個人目標はもちろん社会生活に向けて自立共存していくように常に考え計画作成している。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	17	100%	0%	午前療育、午後療育で支援内容各職員の役割分担の確認、留意事項の確認、送迎の確認をおこなっている	予せぬ事(おもらし、嘔吐、鼻血等)での対応も 職員全員が対応できるスキルを身に付けていく
	18	100%	0%	不明点、疑問点は必ず話し合い明瞭にしている。当日休みの職員にも周知できるようにノート記載の工夫をしている	その日に話せない時や、周知必要な案件は必ずノートに記載している。
	19	100%	0%	毎日記録している。保護者とは連絡帳で日々の支援を共有し、支援記録にて、支援内容を共有している	支援内容を共有し日報にて確認をとり検証していく。支援内容を変更する必要がある場合会議できめる
	20	100%	0%	常日頃からモニタリングを行い、6ヶ月に1度の支援計画に反映している。	モニタリング時期に必ず会議を実施する
関係機関や保護者との連携	21	100%	0%	児童発達支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	管理者の最終判断で最もふさわしい者が参画しているが 職員間で判断出来るようにしていく
	22	100%	0%	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	管理者が職員への連絡を行い情報共有と扱いの徹底に十分な配慮が必要
	23	100%	0%	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	今後保護者様と関係機関や他事業所との連携の為、会議を予定されている
	24	100%	0%	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	主治医とのやり取りや文面等の提示をお願いが必要であれば連絡を取れる体制にある
	25	100%	0%	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	保護者の移行により情報共有を図り必要な場合弊社より申し出ることもある。職員間での注意事項等の周知徹底
	26	100%	0%	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	小学校により対応が異なる為、事前挨拶で相互理解を図り、必要に応じて支援内容の共有と支援方法の共有を連携している
	27	100%	0%	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	今後も積極的に助言や研修を受けていきたい
	28	0%	100%	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	地域支援につながるような開かれた事業所をめざしていく
	29	100%	0%	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	今後 管理者だけでなく職員も積極的に参加できるように調整していく
	30	100%	0%	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	緊急時の連絡体制を万全に備えておく
31	0%	100%	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	定期的にペアレントトレーニングプログラムを取り組めるように検討中	
32	100%	0%	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	不明点がある場合等 電話や口頭でわかりやすく説明しています	
33	100%	0%	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	コロナ禍が過ぎたので、保護者様と対面での支援内容の説明ができるように機会を作っていく	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	主に児発管が必要な助言と支援を行っています。その内容について会議や申し送り等で全職員が把握できるようにしています	悩みや困りごとの相談が出来やすい関係性の構築を心がける
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%	開催等 模索中	保護者様の意向を考慮し地域支援につながるような開かれた事業所を目指します
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	管理者を通じて迅速適切に対応できるように要望に沿った形で対応しています	迅速に必要であれば会議を招集できるように心がけている
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	月1回のリズム通信を各御家庭1部づつ配布している	緊急連絡やその他情報配信が必要な時はリズム通信以外で情報の提示を行っている
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%	社内規約にも取り決めがあり、研修も行なっている	SNS等での情報漏洩についても十分気を配り防止に努めている
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	視覚支援(絵カード)、手話、声の大きさ(聴覚支援)、スキンシップで配慮している	適切な対応で出来る事を増やしてしていきます
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%	今後検討する	地域支援につながるような開かれた事業所を目指していく
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	100%	0%	マニュアルを作成し運用を実施	研修を行い職員間で情報共有している保護者へ月の通信で研修を行ったことを伝えていく
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	安全を確保しながら年2回の訓練を実施する	訓練の様子等を月の通信でお知らせしていく
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%	0%	契約時のアセスメント後個人ファイルへの記入と職員間への周知を行い、対応についても周知徹底しています	安全管理を徹底し間違いのないように記録を残しています。癇癇が頻繁に起っている時期は子供の様子をよく観察し、加配を必ずつける等の配慮が必要
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	見落とし、間違いがないようにシク横に情報提示しています	おやつや昼食時、職員間で必ずチェックし合い安全に配慮している
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	些細なヒヤリハットも見逃さず、職員が注意できるようにノートに記入し、共有しています	休みの職員もノートを確認する習慣が身についているので共通理解できている
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	虐待防止委員会を設置。マニュアル及び指針を作成運用している	職員研修と個々の対応指導に取り組み全職員に周知徹底している
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	100%	0%	適正化委員会を設置。マニュアル及び指針を作成運用している	職員研修と個々の対応指導に取り組み全職員に周知徹底している

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。